

参加自由
無料



第1回「人文知」コレギウム

—富山、「病い」の未来を切り拓く—

2017.6.28(水) 13:30-15:30
富山大学人文学部 1階大会議室

「富山県における高次脳機能障害支援の展開と社会学」

社会文化講座（社会学）准教授 伊藤智樹

【要旨】高次脳機能障害は、救急医療等の発達によって生存できた人の「その後」の問題として、近年注目されるようになってきている。本報告では、富山県高次脳機能障害相談支援センターが展開している「ピア・サポート事業」への社会学の貢献を通して、活動を記録し、独自の視点や枠組みでその有効性を分析することができる人文知が、支援の推進それ自体にとって重要であることを示す。

「ダーク・ツーリズムの視角からみた観光地富山の可能性」

社会文化講座（人文地理学）准教授 鈴木晃志郎

【要旨】事故、虐殺、自然災害などで人が暴力的に命を絶たれた場所をめぐる観光「ダーク・ツーリズム」をご存じだろうか。不謹慎にも思えるこの観光現象はしかし、3.11以降の被災地において、人々が悲しみを共有し未来に向けた学びを得るための手段として新たな脚光を浴びつつある。本発表では、四大公害病の一つであるイタイイタイ病をとりあげ、これを近代工業化の過程に位置づけ再定義することを通じて、観光地富山におけるダーク・ツーリズムの貢献可能性を検討する。